

2007 年度 小委員会活動成果報告

(2008 年 2 月 15 日作成)

小委員会名	固体音小委員会	主 査 名：平松友孝 就任年月：2005 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学本委員会 (音環境運営委員会)	委員長名：井上 勝夫 主 査 名：大鶴徹
設 置 期 間	2005 年 4 月 ~ 2009 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>・床衝撃音の問題は、住宅性能評価・表示制度の評価項目にも挙げられ、一般消費者の関心も高く、各機関による研究も盛んに行われている分野であるが、建物の性能向上や住まい方の違いなどにより、測定法・評価法の見直しが必要になっている。そこで、本委員会では、床衝撃音問題を解決するために、床衝撃音に関する一連の検討を実施する。</p> <p style="text-align: center;">2005,2006 年度</p> <p>・走り回り等により生じる各種床衝撃音と、JIS 標準衝撃源等の対応性についての聴感評価実験を実施した。また、ボールに関する既往研究のレビュー、測定事例の収集を行った。これらから、JIS A 1418-2:²⁰⁰⁰に規定されるボールの普及可能性についての検討を行った。</p> <p>・2005 年 7 月にシンポジウム「床衝撃音の今後を考える」を開催。</p> <p>・2005 年大会で O.S.「床衝撃音の現状と今後の課題」を実施。</p> <p>・2007 年 3 月にシンポジウム「重量床衝撃音の標準衝撃源」を開催。</p> <p style="text-align: center;">2007 年度</p> <p>・走り回り等により生じる各種床衝撃音と、JIS 標準衝撃源による床衝撃音の収録を 6 箇所の建物において実施した。</p> <p style="text-align: center;">2008 年度</p> <p>・2007 年度収録した床衝撃音を基に評価に関わる聴感評価実験を実施する。</p> <p>・評価実験等からボールを衝撃音とした場合の評価方法に関して検討を行う。</p> <p>・2009 年 3 月にシンポジウム開催予定。</p>	
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：有り 平松友孝(主査：大成建設)、中澤真司(幹事：鉄建建設)、稲留康一(奥村組)、井上勝夫(日大理工)、岩本毅(三井住友建設)、漆戸雄(フジタ)、上明戸昇(飛鳥建設)、河原塚透(大成建設)、田中学(日総試)、中森俊介(小林理研)、濱田幸雄(日大工)、平光厚雄(建研)、藤橋克己(前田建設)、松岡明彦(戸田建設)、矢入幹記(鹿島建設)	
設置 WG (WG 名：目的)	設備機器に伴う固体音検討 WG 近年問題となっている設備機器固体音問題に関して検討を行う。最終的には、各種固体音の対策方法を会員が使用できるような資料としてのまとめを行う。	
2007 年度予算	43,040 円	ホームページ公開の有無：無し 委員会 HP アドレス：

項 目	自己評価
委員会開催数	7 回(年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	

催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 当初の計画通り実施でき、2008年度の活動に確実に結びつく。
委員会活動の問題点・課題	1. 6回の床衝撃音収録を実施したが、手弁当での実施であり、時間、費用共に委員に対する負担が大きい。

* 小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。